

2010-2011

# WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail [info@meinan-rotary.com](mailto:info@meinan-rotary.com)



地域を育み、大地をつなぐ

2010-2011 年度 RI 会長 レイ・クリンギンミス

## 名古屋名南ロータリークラブ

■承認 / 1991年3月8日 ■例会日 / 火曜日・PM6:30 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル  
■会長 / 太田 敦士 ■幹事 / 吉木 邦男 ■会報・雑誌・広報委員長 / 三島多恵子  
■事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号  
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

## 第956回

2011年6月7日(火) 晴 第43回

～ ロータリー親睦活動月間 ～

斉唱 君が代 奉仕の理想  
出席 会員 65名 (出席率算入人数 61名)  
出席 49名 出席率 80.33%  
前々回補填率 96.61%(5月24日分)

### 6月の誕生日

1日 木村 猛さん 5日 小山 慎介さん  
23日 武藤 正行さん 24日 田中 省三さん

## 会長あいさつ

会長 太田 敦士さん

皆様、こんばんは。小山さんようこそお出で下さいました。皆様小山さんに会うのは久しぶりでしょうが、私は先週土曜日に地区委員と会長幹事懇談会で同席させていただきました。その時小山さんがあいさつされまして相当顔色が悪かったので、しばらくは例会の出席も難しいのかなと思っておりました。今日は顔色も随分良くなられて本当に良かったと思っております。今後も元気で例会に出てきて下さい。



先程、創立20周年記念実行委員長の伊藤さんから、20周年で余った約400万円をどのように使うかというお話がありました。今日の理事会で、大船渡と気仙沼の養護施設へ寄付するという事に決まりましたのでご報告させていただきます。先日、児島さんに現地へ見に行ってくださいまして、来週詳しいお話があると思いますが、大船渡では震災で壊れた浄化槽を作りたい等、衛生問題にも関わってくる切実なお話でした。

## 幹事報告

幹事 吉木 邦男さん

1. 退会届けが出ております。堀田光江さん、体調不良のためです。
2. 海外出張届けが出ております。佐々木元彦さん、フランスへ、6月19日～26日、商用です。

## ニコボックス

- ◆ 本日卓話をさせて戴きます。よろしくお願ひします。 木下 福郎さん
- ◆ 川辺清次さんと木下福郎さんの会員卓話を楽しみにしています。

|         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 鈴木 清詞さん | 川辺 清次さん | 猪村 美之さん |
| 安藤 修さん  | 江上 隆夫さん | 中村 勝さん  |
| 榊原 和美さん | 木村 猛さん  | 久米 伸治さん |
| 牧野 好弘さん | 田中 省三さん | 川瀬 悟さん  |
| 山本 誠一さん | 浅井 浩さん  | 林 隆二さん  |
| 鈴木 一博さん | 野々村憲吾さん | 犬飼りさ枝さん |
| 新原 尚さん  | 伊藤 博昭さん | 武藤 正行さん |
| 黒田 康正さん | 入谷 直行さん | 三島多恵子さん |
| 本多 利郎さん | 三浦 和人さん | 伊藤 圭一さん |
| 大橋さなえさん | 坂田 信子さん | 細井 俊男さん |
| 田中 一雄さん | 東山 直史さん | 森田敏二三さん |
| 小野 雅之さん | 宮崎 良一さん | 児島 徳和さん |
| 朝比美和子さん | 中西 芳子さん | 三浦 隆さん  |

- ◆ 入院中、自宅療養中、多くの皆様からお見舞、はげましのお電話をいただき有り難うございました。お礼を申し上げます。

小山 慎介さん

本日合計 44,000円 累計 1,704,000円

## 小山慎介さん あいさつ

皆様、こんばんは。無事に生還して参りました。4回の入院中3回の大きな手術で、1回目は大動脈乖離で亀裂が入りものすごい痛い症状で、2回目は去年7月破壊して大動脈が破れ1週間危篤状態でした。3回目は1月24日に胸が痛くなり病院へ行くと、7月の手術であばら骨を2本取っているものですからそれが動いて胸を刺しているということでした。そして以前の瘤がまだ2つ残っていたのを取ろうということになり簡単な手術で7～8時間で済むということでした。しかしやってみたら、手術中に心筋梗塞を起こし、ICUでは3日目に肺炎を起こし、今も心筋梗塞がまだ残っています。肺炎はやっと落ち着きましたが非常に話しづらい状態です。

皆様、やはり健康が第一です。酒は悪いとは言いませんが、たばこ、肥満体、食塩の取りすぎは注意していただければと思います。これからまた元気に頑張っていきますので、仲良く宜しくお願ひいたします。どうもありがとうございました。

## ■創立20周年記念実行委員会

委員長 伊藤 圭一さん

今日14回目の実行委員会が終了し、解散いたしましたのでご報告申し上げます。今日出席袋に入れた会計報告をご参考にさせていただきたいと思っております。予算が1,000万円で約400万円も残したことは、非常に上手くやったとお褒めいただきたいと思っております。残った約400万円の用途について我々は関知いたしておりませんので、是非有効に使っていただくようお願いしたいと思います。

## 同好会報告

## ■混声合唱団

世話役 川辺 清次さん

名古屋地区RC合唱団連合会、東日本大震災チャリティーコンサートが6月4日に名東文化小劇場で無事終わりました。ありがとうございます。

皆様からいただいた義援金トータル50,008円は6月1日に運営担当の大須RCへ振り込みをさせていただきました。当日の義援金箱と合わせてあしなが育英会へ寄付させていただきます。

あと、5月24日に江上さんがクラブ大会で3000円、6月3日に私がキングスコートで3000円、それぞれ義援金をいただき合わせて義援金箱に入れさせていただきましたので重ねてご報告させていただきます。

当日あしなが育英会の学生が2人おりまして、岐阜大学4年生の彼は中学生の時にお父さんが重度の障害に陥ったということで、母親の手で兄弟4人育てられたということでございました。あしなが育英会のお陰で大学まで行かせていただいたという感謝の言葉がありました。やっけて良かったととても実感しました。今回の大震災で滋賀県の全国大会が中止になりましたので、名古屋合唱団のチャリティーコンサートをやろうということで、これから10年間続けあしなが育英会へ寄付しようというつもりであります。来年は5月24日に市民会館中ホールをリザーブしておりますのでその節はまた宜しくお願いいたします。

合唱団の方へ連絡事項ですが、6・7・8月は夏休みに入ります。来年5月に横浜の未来ホールで行われる予定の全国大会に向けて、9月から練習を再開しますので宜しくお願いいたします。

## ■ゴルフ部会

幹事 木村 猛さん

本日、優勝者による取り切り戦が行われまして、栄えある優勝に輝いた細井さんに太田会長から商品をお褒めいただきたく思います。おめでとうございます。

細井 俊男さん

今日は非常に良いゴルフ場で天候にもメンバーにも恵まれ、思った以上のスコアが出て優勝することができました。今日の優勝は森田さんなんですが、取り切りをいただきまして本当にありがとうございます。



## ■川辺 清次さん

皆様、こんばんは。会員卓話は20年で3度目になります。今日は大震災で私の知る限りの話をさせていただきます。



私も建築家の端くれですが、耐震診断や耐震構造は木村さんが専門です。色々見たところ、今回は津波の影響が出ていたということで、これから建築学会等が検証して反省点が出るかと思っております。

出席袋に河北新報という新聞の記事のコピーを入れさせていただきました。これは私の東北にいる友人の話で、三陸沖には400年おきに津波の被害があったと聞きました。1611年には慶長三陸津波が発生し、仙台藩で1783人が亡くなっております。この教訓を生かして三陸沖では浜街道が造られました。そして、この街道は今回被害に合わなかったということです。新聞には『過去の津波の浸水域を避けて、街道が整備された可能性が高い。自然と共存するための先人の知恵ではないか』『明治以降の近代化や宅地開発などで、津波経験の記憶が薄れてしまった。先人が自然災害の教訓をどう生かしていたかを丹念に調べ、今度の復旧に生かすべきだ』とあります。

今、福島原発も色々問題になっておりますが、原発を造る時の委員の中にはこのこと教訓として、津波があるから他の場所に造るべきだと言った人がいたらしいのです。その方が、今回の津波の被害で教訓が生かされなかったことを非常に悔やんでいるという新聞の記事がありました。「想定外だ」という言葉を使っけてはいけなくて最近の学者は言っておりますが、やはり先人の教訓を生かすべきで、どんなに技術が発達しても自然の災害にはかなわないということが教訓として残ったのではないかと思います。

話は変わりますが、実は4月14日にある駐車場で車を外壁に当て外壁が割れてしまいました。その外壁の家の方は何度訪ねても留守で会えず、電話帳にも登録されておらず困りました。4月25日の夕方に行くやっとその家の奥様に会えました。「実はお宅の外壁を破りました。私も建築家ですのできちんと直させていただきます。申し訳ございません。」と話しておりますと、「実は守山の方に夫婦2人の小さな家を計画しているので、見積もって見ては。」という話が出てきました。それは建築の大先生か何かが書いたもので、やるとなるとこちらで設計施工をやらなければなりません。1階がRCの車庫になっているので、「構造的にチェックしなければいけないので地盤がわかりますか？」と言うと、「隣が娘の家なので、その時のボーリングデータがある」という話になり、今見積もり中です。たまたまその奥様の知人の建築家が、私と前の設計事務所同期で入った人として、彼がその奥様に電話で「あなた良い人にぶつけられたね。」という話になりました。

私が言いたいのは、私は追突したり、黄色信号で通り抜けることがよくあり、ヒヤッとすることがあります。これは社員にもよく話しますが、ヒヤッとした時にどう感じるかということで、『ひとつの重大事故の背後には、27の軽微な事故があり、300の異常がある』というハインリッヒの法則というもの

があります。ヒヤッとした時、これを「いかん、いかん」と思うのか、それとも平気でそんなことと思わないのか、それが次の事故に繋がると思います。今回の大震災もそうですが、27の軽微な事故や300の異常を教訓に生かすか生かさないかということによって、大事故が防げるのではないかと思います。

それから、カミュというフランスのノーベル賞作家が小説の中で『困難な時に何が大事かということと誠実だ』と言っております。我々の困難は今で考えると不景気です。とにかく仕事は儲かりません。儲からないけれどもいかに誠実な仕事をするかというのは、こういう不景気な時こそ後で差が出ます。これは非常に私の教訓になっており、年末や年始に社員に「今年は誠実に仕事が出来たか」「今年も誠実な仕事をしましょう」ということを話します。苦しいのは皆そうですが、こういう時に一番大事なのは誠実さだと言われており、私もそう思っております。

また、先日、山本誠一さんからお電話を頂きまして、本年度は三浦さんがガバナー補佐をやられるということで、IMのホストを次年度やらなければならないので副委員長をやってくれという話があり、お引き受けすることにしました。是非ご協力をいただきたいと思っております。

#### ■木下 福郎さん

私は職業分類が鉄鋼となっておりまして、鉄の薄板の卸と一次加工をしております。ここ10年間の鉄鋼業界に起こった大きな変化をお話したいと思います。



2010年の世界の製鉄所の粗鋼生産ランキングが出ております。第6位に日本の新日鉄が入っております。2001年まで新日鉄は世界1位でした。その後2008年までは2位でしたが、その後はずっと6位であります。第8位にJFEスチールという2003年に日本鋼管と川崎製鉄が合併して出来た会社が入っております。JFEスチールは、1999年、日産のゴーンショック時にカルロス・ゴーンさんが、安ければ全部その製鉄所から買うと言い、日本鋼管がそれにのって非常に安い値段をつけて会社がほとんど潰れたような状態になり、川崎製鉄と合併せざるを得なかったというような形で出来ました。

第1位はアルセロール・ミッタルというルクセンブルクの会社が9000万トン作りまして、断トツで第1位です。このアルセロール・ミッタルという会社は、1976年にインドのスクラップ屋の息子のラクシュミー・ミッタルが電炉でニッポン・デンロ・イスパトという会社を創りまして、それから約30年間で27カ国30社の鉄鋼メーカーをM&Aで買収しまして、世界第1位の会社になりました。こういう後進国が先進国の会社を買収してM&Aをやるのは製鉄業界しかありません。なぜこういうことが起こったかというと、鉄鋼は非常に長い設備投資をして最低でも10年以上掛からないと利益が上がらないということで、短期間で結論を求められる欧米の会社というのはそれを非常に嫌います。一方で後進国は国が新しく出来る時に鉄道、工場、自動車、家電製品、道路等色々な鉄を作らなければいけないので、自国でできれば会社を創りたいという強い要望があり、後進

国の会社が潰れかけた先進国の鉄鋼メーカーをどんどん買収したというような形になっております。

これ以外にも、インドのタスチールはヨーロッパのコーラス社を買収しています。また、17位のロシアのセベルスターリがアメリカのルーヂュスチールというフォードの製鉄部門の鉄鋼会社を買収しております。今アルセロール・ミッタルが狙っているのが、東日本の製鉄拠点が無いので買収したいということで、中国が国の政策でM&Aを許していないので買収できないので、韓国か日本の製鉄会社を買いたいという噂です。韓国のポスコは非常に安いのですが、国民感情が非常に激しくストライキをやるので、日本の製鉄会社を買いたいのではないかとと言われております。

鉄の作り方には電炉と高炉の2つがあります。まず電炉とは、電気炉で高熱にしてスクラップを溶かし不純物を取り除いて鉄を作る方法です。高炉とは、耐火煉瓦で100メートル位の塔を造り、その上から鉄鉱石、コークス、石灰石等を入れ、それを熱風で暖め化学変化を起こして鉄を作ります。炭素還元法で鉄を作っており鉄には酸素がついていますが、酸素を取らないと純鉄が作れないものですから、コークスの一酸化炭素で酸素を取って、純鉄と二酸化炭素を作るというやり方です。そのため二酸化炭素が沢山排出されており、電炉の方が地球に優しいと言われておりますが、高炉というのは鉄鉱石からそのまま鉄を作りますから、非常に鉄の純度が高く品質の高い鉄が出来ます。ただ、設備投資が多いのと一度に作る量が多いので、沢山作り続けなければならない、沢山売らなければならないという問題が残ります。電気炉は小さい電気炉でも簡単に作れますので、電気炉の方が簡単ですが、色々な不純物がスクラップの中に混ざっているもので、それを取り除かなければならないのと上手く取り除けないので、非常にグレードの悪い鉄が出来てしまいます。また、高炉は熱が出ますので熱を利用して自家発電をしております。IPPによって製鉄所は全部発電所を造っています。それに対し、電炉は電気を作れませんので、電気を買います。今回の節電で電炉メーカーは大きなダメージを受けるのではないかと思います。

電炉メーカーはスクラップが無いと作れませんので、ある程度国が発展して、自動車の古いものや壊れた船等のスクラップが沢山国に無いとなかなか作れません。2008年度の電炉の比率ですが、日本は25%約50社の電炉で作ってしまっていて、75%5社の高炉が作っています。アメリカは58.1%電炉が作っています。EUは43.4%、中国は9.1%です。中国がどうしても少ないかと言うとスクラップが無いからです。ただ、9%電炉をどうしているかと言うと、海外の主に日本から非常に沢山のスクラップを輸入しています。日本の電炉メーカーは自分達で価格をコントロールすることが出来ず、中国と韓国のメーカーの値段を見てどうしても買いたければそれよりも高い値段で買うということを今やらざるを得ない状態になっております。

先ほどのランキング内で上位15位の中で8社が中国のメーカーです。これも合併して大きくなったのですが、ごく最近出てきた会社ばかりです。これを全部足すと、中国が6億トン、日本が1億トン作っていますので、中国が日本の約5.5倍鉄を作っています。量的なことを言いますと、2000年くらいまでは過去25年間で8億トンくらいで世界の粗鋼生産は

推移してきましたが、2000年から徐々に増え始め、2010年には14億トンに増えています。増えた6億トンは先ほどの中国の6億トンです。

2012年に新日鉄と住友金属が合併交渉に入ることが決定しました。一応6位と23位を2010年の粗鋼生産量に当てはめると世界第3位に入ります。まだ中国の方が上をいっています。やはり、日本の鉄鋼メーカーは、アルセロール・ミッテルのような買収から身を守りたいという事がひとつと、また、鉄鉱石の価格が非常に今上がってきています。2003年以前は25年間くらい鉄鉱石が20ドルくらいだったのが、2004年からどんどん上がり始め、2010年は100ドルを超えています。やはり上がった原因は中国が6億トン作る事になって、売り手市場に切り替わったという事がひとつ。また、ブラジルのフェール、オーストラリアのリオテント、オーストラリアとイギリスのBHPビリトンの3つの資源メジャーが世界の8割を抑えており、買う方は沢山買うようになって、売る方はほとんど3社が握っているものから非常に売り手市場になってしまっていて、実際に鉄を作っている量は80%増えただけですが、鉄鉱石の価格は5倍くらいに今なっている状態です。このコストをヘッジすることが今非常に難しいものから、住友金属と新日鉄が合併するのはこのような鉄鉱石の値上りもひとつの要因だと思います。

地球は3分の1が鉄で出来ています。今日本の高炉メーカー、商社が新たな鉄鉱石や石炭の開発に乗り出しています。主に鉄鉱石が出てくるのは、ブラジルが第1位で約35%、オーストラリア、インド、南アフリカが多いです。アフリカはまだ手付かずなので、今、中国が非常にアフリカに進出しており、石炭や鉄鉱石、レアメタルを押さえ込もうとしております。

今高炉メーカーが変わってきており、2020年迄に国内高炉4社、海外高炉13社共同で非常に軽い自動車用鋼板を作ろうと共同研究しております。約35%軽くなるということです。これはアルミや炭素繊維にシェアを取られたくないということで鉄鋼メーカーが一丸となって開発をしております。また、鉄鉱石や石炭が非常に高くなっているの、製鉄ダストという製鉄した残りクズから還元鉄を集めようという技術開発をしております。更にAIという人工知能のコンピューターを使って、今まで高炉のコントロールが出来なかったのを、何とか環境をコントロールして低グレードのものからでも鉄ができるようにしようと開発しています。この悪影響で高炉メーカーが爆発したり火事になったりしていますが、これが上手く制御できなくてそういうことが起こっています。ただ、今日本の高炉メーカーの技術は世界で第1位です。非常に悪いものから良い鉄を作る技術を持っています。それから、炭素還元で鉄を作っているの、どうしても二酸化炭素が出てきます。逆に二酸化炭素から炭素を分離して炭素繊維に使う等の技術を開発しています。また、製鉄のやり方を変えて、炭素ではなくて水素で酸素を取ると水が出来るので非常に無害なものができるということでこの研究も始めております。

日本の製鉄メーカーは非常にがんばっていますが、我々のお客様の日本の製造メーカーについて今心配をしています。今回の震災で日本の自動車メーカーは大打撃を受けました。韓国の現代自動車に聞きますと、震災の影響は無かったという話です。トヨタや日産が作れなくなったので今がチャンスということで増産に入っているようです。今年の現代自動車の年間生産予定数は630万台だったのを今40万台上乗せして670万台にしています。それに比べ、トヨタ自動車の年間生産予定数は720万台です。これは震災前の話です。トヨタ自動車は非常に良いメーカーですが、日本国内と北米が強いだけで、ヨーロッパや中国、アジアでは苦戦しています。ブラジルでは20年間くらい年間7万台販売しています。ホンダが年間10万台くらいで、現代自動車从今年から参入してきて13万台を売る予定にしています。今年の年末に30万台の自動車工場をブラジルに造る予定にしておき、来年もう一箇所30万台の工場を造る予定になっております。あと、リオデジャネイロとサンパウロの間に新幹線を造る計画があるのですが、それも日本のJRが負けて韓国が取ったという話を聞いております。

日本の鉄鋼メーカーは非常にがんばってござりまして、あと5年以内にインドがまたテイクオフしますので、更に5億トンくらい鉄が増えるようになると思います。それでまた環境破壊等起こると思いますが、また機会がありましたらご報告させていただきます。

## 第 958 回例会 (6 月 21 日) のご案内

IDM

於：名古屋観光ホテル 18F「伊吹の間」

### ■ 6 月度理事会 議事録 ■

報告者 入谷 直行さん

日時 2011 年 6 月 7 日(火) 17:00 ~  
場所 名古屋マリオットアソシアホテル  
17F『パイン』

出席者 太田、猪村、山本、吉木、小野、  
木下、本多、入谷、宮崎、児島、  
黒田、朝比、三島

16名中13名参加

#### ◎審議事項

一、退会届の件 <幹事 吉木 邦男さん>  
堀田 光江さん 体調不良のため6月末にて退会

一、新入会員推薦の件 <幹事 吉木 邦男さん>  
宮本 浩史さん(宮澤さん後任)  
7月5日入会式の予定

#### ◎協議事項

一、台北ミレニアム RC との共同支援の件  
<国際奉仕委員会 木下 福郎さん>  
当初、台北ミレニアム RC・竹南ミレニアム RC  
で150万送金いただける予定でしたが、三重ミ  
レニアム RC もあわせて180万送金いただける  
予定。  
台北ミレニアム RC より RI へ補助金申請をする  
ため、被災地の状況写真及び予算書・申請書類  
などを台北へ送る。

#### ◎報告事項

なし

#### ◎その他

一、6 / 14 会員卓話について  
<社会奉仕委員会 児島 徳和さん>  
被災地の大洋学園と旭が丘学園、訪問の際の状況  
をパワーポイントにて報告する。  
次回、14日名養連の理事長来訪。